

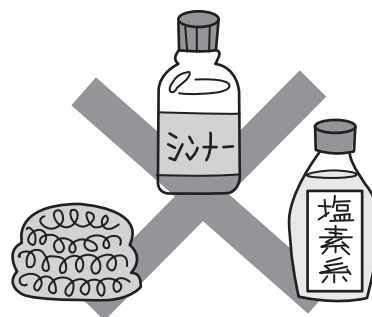
## 使用上のご注意



- 折戸に寄り掛かったり、強い衝撃を与えないでください。
- 特にお子様の安全確保については十分なる配慮をお願いします。  
指などをはさんで、けがをするおそれがあります。
- 本体に開閉方向以外の力を加えて、操作しないでください。
- 暖房器具などから発生する熱風、熱気が直接当たらないようにしてください。  
また、湿度の高い場所で使用しないでください。反りやアクリルパネルの歪みの原因になります。
- 折戸を収納扉としてご使用される場合は、枠の背面50mm以内の所に物を置いたり、棚や家具を設置しないでください。扉が干渉し、開閉に支障をきたすおそれがあります。

## お手入れ方法

- 表面に付着した汚れは、固く絞ったやわらかいぬれふきんで拭取ってください。  
落ちにくい場合は、うすめた中性洗剤をふくませたやわらかい布で拭き、その後、固く絞ったやわらかいぬれふきんで洗剤を拭取ってください。
- お手入れにあたっては、次のものは使用しないでください。  
変色や光沢がなくなったり、変形するおそれがあります。
  - ・酸性、アルカリ性および塩素系の洗剤類
  - ・ベンジン、シンナー、ラッカー、アルコール等の溶剤や油類
  - ・クレンザー等の研磨剤が入った洗剤
  - ・金属タワシ等
- ゴミ、ほこりにより開閉が重くなるおそれがあるため、下レールはこまめに掃除機、ぬれふきんで清掃してください。



## お施主様用保存版

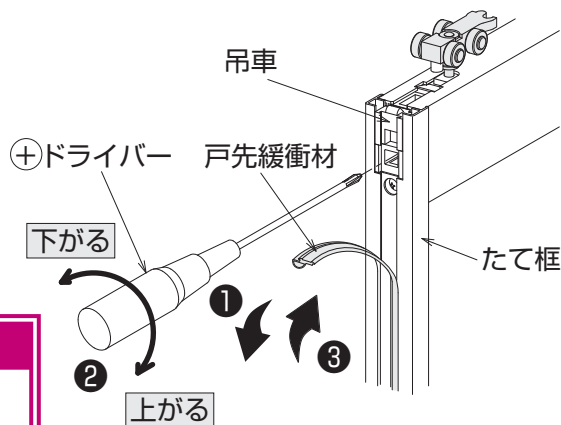
販売店・工務店・建設会社の皆様へ この取扱説明書は施工後、お施主様へお渡しください。

## 折戸本体の建付調整



### ■吊車の調整

- ① 戸先緩衝材の上部をはずしてください。
- ② 吊車についているねじを回すことで上下方向に調整することができます。(±5mm)
- ③ 建付調整終了後、戸先緩衝材をたて框に挿入してください。(最上部は吊車に挿入してください。)



### 注意

吊車は調整範囲内で調整を行ってください。  
調整範囲限界で調整ねじが固くなり回しづらくなりますので、それ以上回さないでください。  
部品が破損し、調整できなくなるおそれがあります。

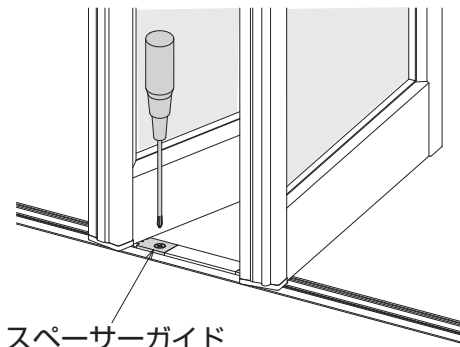
## 折戸(片側)の固定の仕方



折戸を折りたたみ、背面(谷側)の下部のスペーサーガイドのねじをドライバーで締付けてください。

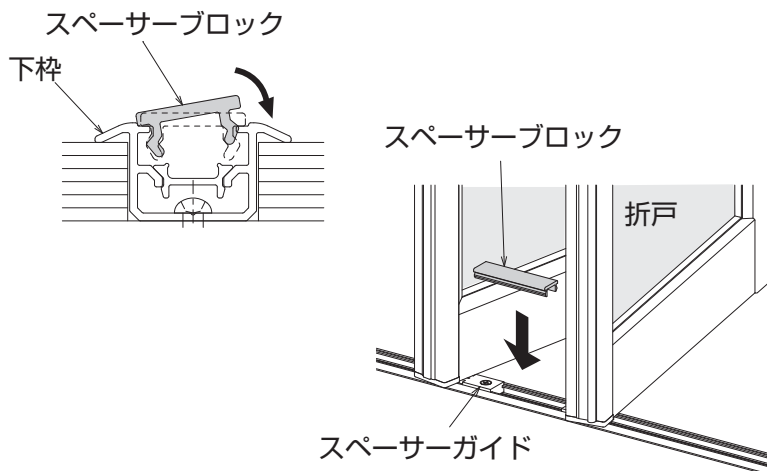
### お願い

スペーサーガイドを固定したまま無理に折戸を移動させないでください。  
下枠やスペーサーガイドを破損させるおそれがあります。



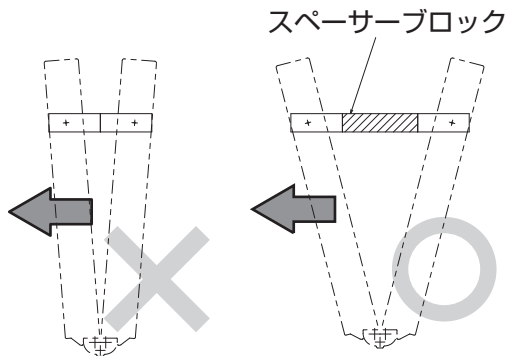
## 開口の広げ方

開口を広げる場合は、下図の要領でスペーサーブロックをはずしてください。  
折戸を閉じる時は必ずスペーサーブロックを元の位置に戻して開閉させてください。



### お願い

折戸のガイドレールに設置してあるスペーサーブロックは、**全開放時に有効開口を広くしたい時のみ**はずしてください。  
スペーサーブロックをはずしたまま扉を折りたたんだ状態で、無理に開閉動作を行うと商品が破損するおそれがあります。



YKK AP株式会社

商品に関するご相談、お問い合わせは  
お客様相談室

受付時間 月～土 9:00～17:00  
(日・祝日・年末年始・夏期休暇等を除く)

0120-20-4134

No. XAAAA-K07-638A123